

# 東方青龍

とうほうせいりゅう(Green Dragon)

伊勢崎市立あずま中学校

学校通信 NO.347

令和8年2月25日(水)



## 3年生による「奉仕作業」

2/19(木)20(金)の二日間、公立高校の入学試験が行われる中で、学校に待機する予定の3年生が奉仕作業を行いました。この日の1・2年生は期末テストであったため、使用中ではない特別教室等を中心に掃除やWAXがけを行ってくれました。慣れ親しんだ校舎への感謝の気持ち、そして、今まさに入試と戦う仲間を応援する気持ちなど様々な気持ちを込めながら、取り組んでいるように見えました。

さらに、25日(水)26日(木)にも3年生全体で3年教室、特別教室等の掃除や整理整頓を行ってくれます。我々がリーダー3年生、ありがとう!



## 2年生「全国学力・学習状況調査」に向けた練習・事前検証

2/20(金)に来年度実施予定の「全国学力・学習状況調査」のサンプル問題を用いて英語の問題に挑戦しました。そして、2/25(火)には文科省から指定された日程での「事前検証」を実施しました。英語に関しては、タブレットを用いた回答であることに加え、ヘッドセットを利用しながら回答グループを分けて実施するなど、より複雑な調査となるため、このように段階的に練習を重ねています。



## 1年生百人一首大会

2/20(金)の5・6校時に1年生が百人一首大会を実施しました。国語の授業で古文の学習の一環として取り組んできた成果を発揮しつつ、クラス対抗での競い合いを学年全体で楽しんでいる様子が伝わってきました。



最後に、冬の終わりから春の訪れを感じせる2月、まさにそんな季節感の表れる2つの歌を紹介します。

「淡路島 かよふ千鳥の 鳴く声に 幾夜寝覚めぬ 須磨の関守」

「人はいさ 心も知らず ふるさとは 花ぞ昔の 香に匂ひける」

冬の風物詩である「千鳥」の鳴き声は冷え込む夜を連想させます。厳しい寒さが続く2月の夜長を表す歌です。そしてもう一首、ここでの「花」は桜ではなく「梅」です。2月の寒さの中にいち早く咲く梅の香りを詠んだ歌で、春の訪れを感じさせます。

せっかく楽しんだ「百人一首」、これからも興味を深め、これからも古典の世界に親しんでいけるとうれいす。